

横浜・野辺地沖（共同漁業権内）における陸奥湾洋上風力発電事業

1. 概要：

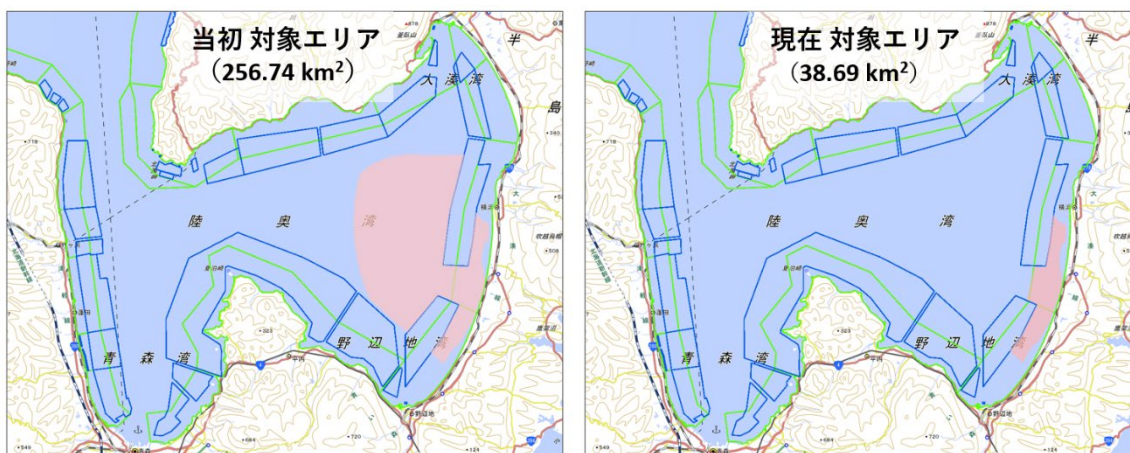
陸奥湾横浜町及び野辺地町地先の沖合1～3km程度沖合に20基程度の洋上風力発電所を建設し、最大出力約30万kWの電力を、海底ケーブルから揚陸変電所を経由のうえ、東北電力ネットワーク上北変電所へ送電するものです。

2. 事業者：

日本風力開発株式会社、青森風力開発株式会社

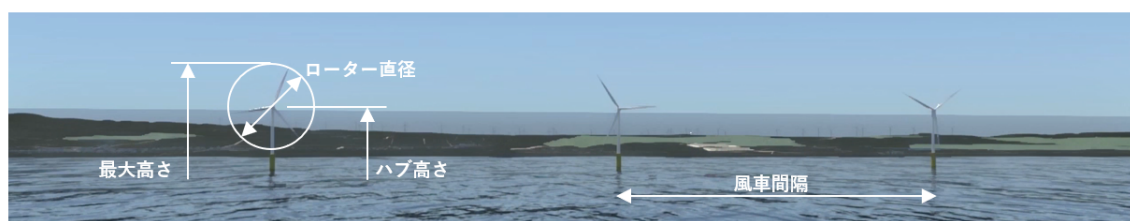
3. 対象エリア：

横浜・野辺地沖（共同漁業権内）38.69km²



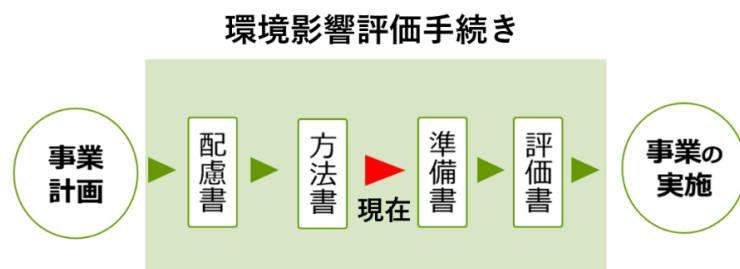
4. 主な諸元：

項目	緒元（当初）	緒元（現在）
定格出力／基	4,200～9,500kW	14,700～17,000kW
風力発電所出力	最大800,000kW	最大304,000kW
ブレード枚数	3枚	3枚
風力発電機の基数	最大191基	20基程度（10基×2列の場合）
ローター直径	117～180m	220～250m
ハブ高さ	平均海面より約112m	平均海面より約124～139m
最大高さ	平均海面より約170.5～202m	平均海面より約234～274m
基礎構造	着床式（モノパイル式）	着床式（モノパイル式）
風車間隔	約400m以上	約700m以上



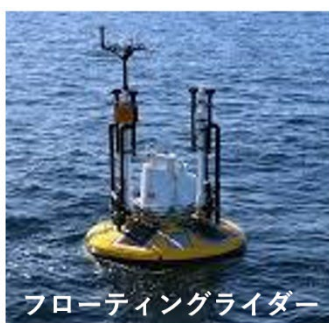
5. 環境影響評価（アセスメント）実施状況：

2017年11月	環境影響評価配慮書縦覧（横浜町、野辺地町、平内町）
2018年7月	環境影響評価方法書縦覧（ 同上 ） 住民向け説明会実施
2018年3月～2019年2月	現地調査実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ハクチョウ類の越冬状況及び春季渡り調査 ・動植物・水質・底質・景観・騒音 ・電波障害・水中騒音 ・人と自然との触れ合いの活動の場



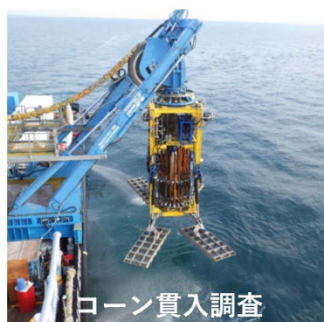
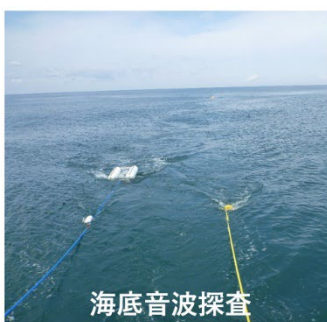
6. 風況調査実施状況：

2017年9月～2022年11月	沿岸地点の陸上風況観測塔及びライダー設置 (横浜海岸、百目木、向田、蟹田)
2019年2月～2020年10月	フローティングライダー設置
2020年9月～現在	洋上風況観測塔設置



7. 地質調査実施状況：

2017年9月	海底音波探査及びボーリング調査実施
2018年8月	コーン貫入試験（CPT）実施



8. 漁業共生策実施状況：

2016年6月～2018年3月	横浜・野辺地沖藻場分布調査、藻場マップ作成等実施
2019年1月	漁業実態把握調査実施
2020年9月	洋上風況観測塔モノパイル打設時のホタテ、ナマコへの影響調査実施
2020年10月～現在	洋上風況観測塔モノパイル基礎部を活用し蛸集・増殖等の各種調査の実施（潜水土、計量魚探、水中カメラ、ドローン、釣獲試験）
2021年9月～現在	洋上風況観測塔モノパイル基礎部近傍に試験礁（グランデ及び竜宮礁）設置、稚ナマコ放流及び継続モニタリング
2022年7月～現在	陸奥湾海況計測データ（水温、流向流速、塩分、溶存酸素）ウェブサイト提供サービスの導入



魚類釣獲及び生息調査



潜水及び水中カメラ調査



海況計測及びデータ配信

陸奥湾（横浜・野辺地沖）海況情報提供システムは[こちら](#)

9. 地域協調の取組実施状況：

2021年5月～現在	産学連携人材育成講座実施 概要：青森市内高等学校と連携し、国内先進地 青森県における風力発電はじめ再生可能エネルギーをテーマとした講義、フィールドワーク、探究活動を実施 実施時期：各年度5月～11月の月1回程度
2021年7月～現在	横浜町立旧南部小学校を活用した現場事務所開設 (JWD 事務所及び横浜町風力発電所施工会社等作業所)



産学連携講座（座学）



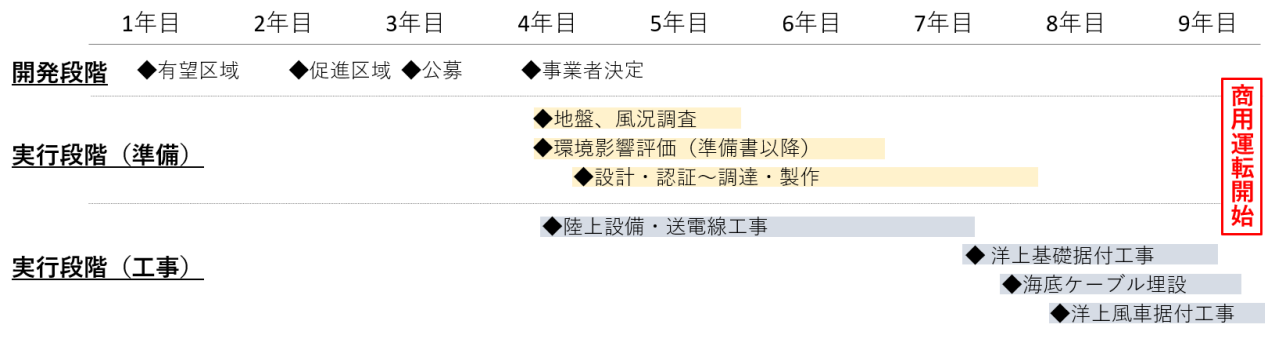
フィールドワーク・探究活動



地域廃校の利活用

地域廃校の利活用については[こちら](#)

10. 今後の事業想定：



商用運転開始

本件問い合わせ先

担当：日本風力開発株式会社 青森事務所

TEL：017-718-1707 / FAX：017-718-1708